

農産物、特産品



安心・安全な野菜とお米が自慢の新篠津には、大地の恵みをアレンジした個性的な特産品もいろいろ。お店で食材を手にとりながら献立を考える楽しさも、地元オリジナルの新鮮な味も、両方、ご家庭にお届けしています。

大地の恵みで、
買い物や食卓を楽しく。



Message 4



01 特別養護老人ホーム 新篠津福祉園

1975(昭和50)年に開園した特別養護老人ホーム・新篠津福祉園には、身体が不自由で介護を必要とする多くのお年寄りが暮らしています。その3分の2以上が村外からこの村にやってきたお年寄りで、村の静かな環境の中で、身体の機能回復と維持に努めています。2010(平成22)年には大規模改修が完了し、より快適で広い施設になりました。デイサービスやショートステイ、ホームヘルプサービスの利用者も多く、園内からは、いつもぎやかな笑い声が聞こえています。



02 障がい者支援施設 新しのつ幸生園

障がい者の生活施設として1977(昭和52)年に開園しました。高齢の障がいを持つ方や重度の障がいを持つ方の生活全般の介護をしています。幸生園まつりや旅行なども毎年実施しています。また、日中は牛乳パックでハガキ作りや陶芸、村内のリサイクルの回収作業をしています。



03 障がい者支援施設 ふれあいの苑

障がい者が、共同で自立した日常や社会生活を送れるよう、入浴や食事の介護などの生活支援や、創作的活動の場を提供する施設です。花見やイチゴ狩り、プールや海水浴、旅行など年中行事や課外活動で外に出かけていく機会が多く、縁日やティーポール、よさこいへの参加など、クラブ活動や余暇活動を通して、社会の一員として地域生活を送る支援をしています。



Shinshinotsu Human File

08

林 隆二さん

手作り工房「ぱん家」

以前は、ほかの職場でバティン工として働いていたのですが、縁があって地元のこの店にやってきました。

朝早くから「ふれあいの苑」や「みのりの苑」の利用者さんと美味しいパン作りに励んでいます。

新篠津村の食材をつかって美味しいパンを作り、村内の方にはもちろん、村外の方にも喜んでもらえるように、新商品や今ある商品の改善に力をいれてていきます。

村に一つしかない「ぱん家」なので、これからも長く愛されるように努めています。

もし食べたいパンなどがあれば気軽

に言ってください。

毎日、みんなが全力で頑張るので負けていらっしゃいません!

Kindness 田園福祉の村、しんしのつ。

新篠津村の中心部には、「新篠津福祉園」「デイサービスセンター」「新しのつ幸生園」「ふれあいの苑」「みのりの苑」「新篠津高等養護学校」といった福祉施設が集まっています。高齢者の介護予防や生きがいづくり、障がい者の自立支援などがおこなわれています。障がいの有無や年代など、それぞれの立場にとらわれず、誰もが気づかいあって心豊かに暮らしていきたい。さまざまなイベントや日常生活での交流を通して「心のバリアフリー」を実践しています。

04 障がい福祉サービス事業所 みのりの苑

障がいをもつ人を対象として、能力や適性にあった各種作業や職場実習を中心に生産活動や就労移行支援をおこなう事業所です。花きの栽培販売、クリーニングのたたみ作業や草刈り、除雪のほか「センターハウスみのり」では、利用者への昼食の提供をおこなっています。手作り工房「ぱん家」では、パン作りや接客、移動販売、納品などをおこなっていて、商品は、店舗以外にも村内のしんしのつ直営市場や、たっぷの湯の売店でも買うことができます。



05 北海道新篠津高等養護学校

新篠津高等養護学校は、発達に障がいがある生徒を対象として設置されています。職業教育を主とした7学科があり、社会参加や自立を目的とし、それぞれの能力や特性に応じた教育をおこなっています。生徒による除雪ボランティアなども実施され、地域貢献にも積極的に取り組んでいます。寄宿舎では、基本的な生活習慣や行動を身につけることを目標に生活しています。



*写真は、地元小学生を対象にした学校開放講座の一コマ。